

日本野鳥の会埼玉 平成27年度事業報告

1. 普及活動関係

(1) 普及部（部長：長野誠治）関係

普及部が主催した探鳥会は別紙探鳥会実施一覧表の通り。

計画127回、雨天中止9回、実施118回（＝1ヵ月平均9.8回）、合計参加者数4,635人（＝1回平均39.3人）に及んだ。前年度は実施110回（＝1ヵ月平均9.2回）、合計参加者数4,155人（＝1回平均37.8人）なので、実施回数、合計参加人数、1回平均参加人数ともに増加した。一般参加者の割合も前年度の15%から18.1%に増加した。

5月16日（土）レディース探鳥会（軽井沢）、10月25日（日）多摩動物公園探鳥会、12月19日（土）Young探鳥会（彩湖）など、新たな企画を実施した。

9月6日（日）北本市内でリーダー研修会を開催した。新リーダー5名、参考参加東京会員1名を含めた33名が参加。模擬探鳥会を中心にして研修した。

12月13日（日）会員を増やすための探鳥会として『はじめてみませんか？バードウォッチング in 大宮公園』（非会員対象、本部共催）をさいたま市大宮公園で開催し、16名の参加者のうち9名から「お試し入会」の申し込みを受けた。

12月23日（水・祝）さいたま市内で年末講演会を開催した。第1部：会員による「映像で振り返るこの1年」、第2部：蒲谷剛彦さんの『鳥声録音－録音こと始め』、第3部：懇親会と続いた。

平成27年埼玉県鳥見ランキングを平成28年1月号で募集し、結果を5月号で発表した。

毎月第1土曜日に普及部会議を開催し、普及活動のあり方や行事予定について意見を交換、普及部だよりを全リーダーに配布した。

(2) その他の普及活動のうち、役員会に報告されたものは次の通り。

さいたま市都市局都市計画部みどり推進課見沼田圃政策推進室が発行した『見沼たんぼ見どころガイド2015』B5版56ページのうち12ページにわたり、当会がまとめた「見沼たんぼの野鳥たち」が掲載された。写真と解説：海老原美夫、探鳥会資料取りまとめ：山口芳邦、監修：楠見邦博・藤掛保司・山部直喜が担当。1万部印刷無料配布したところ好評で、さらに1万部増刷したとのこと。『同ガイド2016』にも同じ「見沼たんぼの野鳥たち」を掲載してほしいと依頼を受け、承諾した。

4月15日（水）、さいたま市大宮第二公園でNPO法人彩の国シニア自然大学校専科コース開講式が開催され、小林みどりが講師として参加した。受講者16名。式後、同公園で簡単な野鳥観察を行った。

5月20日（水）、NPO法人彩の国シニア自然大学校野鳥観察コース第1回が北本自然観察公園で開催され、小林みどり、石光章、榎本秀和、山部直喜が指導。観察の後、繁殖期の鳥の暮らしについて講義。受講者17名。

5月30日（土）、新ハイキングクラブ「野鳥を観る・知る(14)」が、熊谷市ひろせ野鳥の森で開催され、小林みどり、柴野耕一郎、工藤洋三、藤田敏恵が指導。参加者17名。

6月13日（土）さいたま市立浦和博物館主催の親子探鳥会が開催され、楠見邦博、新部泰治、小菅靖、石塚敬二郎が指導。参加者11名。

7月15日（水）、NPO法人彩の国シニア自然大学校野鳥観察コース第2回が千葉県習志野市谷津干潟で開催され、小林みどり、石光章、榎本秀和が指導。観察の後、鳥の羽の役割、メンテナンス、換羽などについて講義。受講者16名。

8月12日（水）の早朝6時半から1時間、春日部市丘の上教会が開催した「キャンプの一環として鳥を見る」で、小学生13名を含む総勢22名に、野村弘子が野鳥観察を指導。

9月26日（土）、北本自然観察公園で、新ハイキングクラブ「野鳥を観る・知る(15)」を指導。小林みどり、吉原俊雄、吉原早苗、柴野耕一郎、星進、工藤洋三、藤田敏恵。

10月21日（水）、NPO法人彩の国シニア自然大学校野鳥観察コース第3回が渡良瀬遊水地で開催され、小林みどり、石光章、榎本秀和が指導。観察の後、冬鳥について講義。

さいたま市PR動画の一部として、見沼たんぼの野鳥たちを紹介するコーナーへの協力依頼を受け、11月17日（火）、見沼自然公園と芝川第一調節池での収録に、海老原美夫、海老原教子、石塚敬二郎、小林みどり、長

嶋宏之、山部直喜が協力。

11月29日(日)、坂戸市環境学館いずみ主催バードウォッチングウオーキング講座を、同館から高麗川沿いに入西こはるが池まで往復するコースで実施。坂口稔と増尾隆が指導。参加者30名。

12月5日(土)越生町越辺川で開催された新ハイキングクラブ主催「鳥を観る、知る(16)」で、小林みどり・工藤洋三・星進・藤田敏恵が野鳥観察を指導。

12月12日(土)金勝山で開催された県立小川げんきプラザ(小川町)主催「陽だまりバードウォッチング」で千島康幸が指導。参加者7名。

12月18日(金)上尾市丸山公園内の自然学習館で開催された自然観察指導員の研修会で、小林みどりが指導。

1月16日(土)金勝山で開催された県立小川げんきプラザ主催「陽だまりバードウォッチング」で千島康幸が指導。参加者12名。

当会監事の楠見邦博が委員の一人である「さいたま市緑区環境講演会実行委員会」が主催し、当会などが後援した緑区環境講演会が、2月7日(日)午後2時から4時まで、同区中尾のプラザイーストで開催され、当会代表海老原美夫が「世界につながる見沼たんぼの野鳥たち」のテーマで講演。定員を越えて集まった144名の人たちに、2015年度「見沼たんぼ見どころガイド」に掲載した「見沼たんぼの野鳥たち」を参照し、海外探鳥の経験を交え、多くの写真を使って、世界と見沼の野鳥のつながりについて話した。

2月13日(土)金勝山で開催された県立小川げんきプラザ(小川町)主催「陽だまりバードウォッチング」で千島康幸が指導。参加者10名。

2月14日(日)坂戸市環境学館いずみの講座「高麗川の未来を考える 第10回高麗川の野鳥」が、坂戸市浅羽ビオトープで実施され、坂口稔、増尾隆が指導。参加者21名。

2月17日(水)NPO法人彩の国シニア自然大学校野鳥観察コース第4回を、芝川第一調節池(観察)とプラザイースト(野鳥の楽しみ方について室内講義)で実施。小林みどり、石光章、藤田敏恵が指導。

2月18日(木)同校2016年度に向けた「体験コース」を北本自然観察公園で小林みどりが実施。

2月27日(土)渡良瀬遊水地で開催された新ハイキングクラブ主催「鳥を観る・知る(17)」で、小林みどり、浅見徹、工藤洋三、星進が指導。参加者約20名。

2月28日(日)埼玉県環境科学国際センター(加須市)主催の「冬のバードウォッチングを楽しもう」がセンター内の生態園・種足ふれあい公園で実施され、茂木幸藏ほか8名で指導。参加者30名。

3月6日(日)比企郡小川町金勝山で開催された県立小川げんきプラザ主催「ジャムづくりとバードウォッチング」で千島康幸、松下光、青山紘一が指導。参加者31名

読売新聞埼玉県版ではほぼ毎週土曜日に掲載される『動物日記』は4団体交代で執筆し、当会担当部分は3月26日で13年目130回を迎えた。

2. 保護活動関係

埼玉県みどり自然課から鳥獣保護員推薦依頼があり、小林みどり、小荷田行男、橋口長和の3名を、埼玉県鳥獣保護員に推薦した。3名は密猟や不法飼育などの取り締まり指導、鳥類調査、シラコバト保護対策などの職務に従事した。

公益財団本部自然保護室の定期探鳥会記録をデータベース化する事業に、年度当初は山口芳邦が、途中で森本國夫が交代して、データを送信した。

「見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク」の運営会議、「みぬま秋フェス in さぎ山」実行委員会、さいたま市「見沼たんぼ交流の場」検討会、武蔵丘陵森林公園地域懇談会などに年間を通じて小林みどりと藤掛保司が出席し、「私の好きな見沼たんぼ2015」写真コンクールに副賞を提供した。

NPO法人コウノトリ湿地ネット(兵庫県豊岡市)から日本野鳥の会本部を通じて届いた「コウノトリの飛来が確認できたら、飛来飛去日時・地名と環境などを、連絡してほしい」との依頼を、会報『しらこぼと』6月号で広報した。

日本野鳥の会本部の「野鳥の子そだて応援キャンペーン」に協力して、「ヒナを拾わないで!!」ポスターと『ヒナとの関わり方がわかるハンドブック』を、7月号で広報した。

10月31日(土)川崎市で開催された(仮称)羽田連絡道路の建設が予定されている多摩川河口干潟の、過去、現在、未来を考える「多摩川河口の自然を考えるシンポジウム2015」を、10月号で広報した。

1月30日(土)都内で開催されたNPO法人バードリサーチなど主催「なつみずたんぼシンポジウム」で、小林みどりが、「埼玉県内のなつみずたんぼのシギ・チドリ」につき発表した。

2月13日(土)滑川町武蔵丘陵森林公園探鳥会終了後、同公園の屋内会場で開催され一般社団法人佐渡生きもの語り研究所(佐渡市)主催「佐渡のトキ」セミナーに、協力した。

和白干潟を守る会(福岡市)の呼びかけに応え、和白干潟ラムサール条約登録を求める請願署名活動第2弾に協力することとして、3月号で呼びかけた。

2月28日(日)入間市で開催された平和の声・行動ネットワーク入間主催のシンポジウム「壊しているの？いるまの森」で、小林みどり、オオタカが生息できる環境について、さいたま市内の観察例をもとに講演した。

3. 調査研究活動関係

(1) 研究部(部長:小林みどり)の活動

平成27年1月に実施した県内カモ・ハクチョウ類調査を集計し、『しらこぼと』6月号で発表した。

4月29日、さいたま市桜区大久保農耕地でシギ・チドリ類調査を実施し、その結果を7月号で発表した。

9月23日、さいたま市桜区大久保農耕地でシギ・チドリ類調査を実施し、その結果を12月号で発表した。

9月27日、飯能市天覧山と寄居町中間平でタカの渡り調査を実施し、その結果を県内各地のタカの渡りの観察例とともに、12月号で発表した。

平成28年1月、カモ・ハクチョウ類調査を実施した。

過去の調査の未整理部分につき、データ入力と結果発表の準備作業を続けた。

(2) 野鳥記録委員会(委員長:榎本秀和)の活動

平成26年12月13日深谷市で撮影されたナベヅルを、県内3例目の記録として5月号に発表した。

4月2日春日部市内で撮影されたニシセグロカモメを、県内初の確認記録として、10月号に発表した。県内332種目。

8月5日入間郡越生町で保護されたと新聞報道されたカツオドリを、県内初の確認記録として、10月号に発表した。県内333種目。

11月26日戸田市内で撮影されたカラムクドリを、県内初の確認記録として、3月号に発表した。県内334種目。

12月10日蓮田市内で撮影されたサバンナシトドを、県内3例目の記録として、3月号に発表した。

11月28日から1月9日まで秩父市内で年を越したツバメにつき、5月号に発表するための準備をした。

県内野鳥チェックリスト2016年版を作成した。

4. 広報活動関係

(1) 編集部(部長:山部直喜)の活動

毎月第1土曜日に編集会議を開いて、平成27年5月号から28年4月号まで、年12回『しらこぼと』を発行した。発行部数は各号1,800部ずつ、合計21,600部。

家族会員を除く支部会員すべてと、野鳥の会全国の支部・連携団体やサンクチュアリ、県の関係部課、自然学習センター、国立国会図書館を含む各図書館、山階鳥類研究所、マスコミ各社などに毎月配布あるいは寄贈した。

表紙の通年カラー化を継続した。

各号の特集は次の通り。

平成27年5月号 「探鳥会記録より(その5) 出現率の変化〈カッコウやホトトギスと托卵相手の場合〉」
(山口芳邦)

6月号 「探鳥地案内 羽生市・羽生水郷公園 ～平日探鳥会のすすめ～」(相原修一)

7月号 「私の山歩きと鳥と」(星進)

8月号 「平成27年度(第31回)総会」(総務部)

9月号 「新ホームページの使い勝手はいかがでしょう？」(IT委員会)

10月号 「黒浜沼周辺における野鳥の増減について」(田中幸雄)

- 11月号 「タイでバードウォッチング ～タイ探鳥の魅力と紹介～」(進士悦行)
- 12月号 「2015年秋 タカの渡り調査結果」(研究部)
- 平成28年1月号 「第39回日本野鳥の会関東ブロック協議会を開催」(総務部)
- 2月号 「若者向け探鳥会 「埼玉Young探(ヤンタン)」始動！」(石塚敬二郎)
- 3月号 「バードウォッチャーの「1年の計は3月にあり」と思う」(吉原早苗・千島康幸)
- 4月号 「『Japanese』の鳥」(石光 章)

毎月第2土曜日を校正作業の日として、数名の会員が『しらこぼと』の定期発行に協力した。

毎月1回年間12回『しらこぼと』袋づめの会を開催し、埼玉会報のみの会員向け袋詰め作業をして、郵便局から発送した。

(2) IT委員会(委員長:浅見徹)の活動

頻繁に委員会を開催し、探鳥会参加者や新入会者の増加を目指して、公式サイトの実績につとめた。2016年2月のアクセス数は185回/日の最高値を示し、年間探鳥会参加者の一般参加者の割合が前年度の15%から18.1%に増加したのも、その成果の表れと言えよう。

5. 総務・事務局関係

今年度当初(27/04/01)会員数は1,772人、今年度末(28/03/31)の会員数は1,748人。残念ながら24人(1.4%)減少した。(参考:前年度の減少率は2.9%)

年間13回の役員会議を開催して行事予定、会の基本方針などを話し合い、毎回役員会報告を作成して郵便またはeメールで全役員に送付するとともに、要旨を支部報に掲載した。

6月28日(日)、さいたま市内で総会を開催した。公益財団本部普及室安西英明主席研究員「『フィールドガイド日本の野鳥』新たな改訂のポイント」の記念講演、平成26年県内鳥見ランキング探鳥会参加回数で1位となった中川敏子さんと観察鳥種数の部で1位となった吉原早苗さんに対する表彰式のと議事に入り、平成26年度決算と事業報告、平成27年度予算案と事業計画案を承認した。平成27年度役員として41名を再任し、石塚敬二郎、鈴木秀治を新役員として選出した。同日、同所での役員会議で互選の結果、代表:海老原美夫、副代表:小林みどり、山部直喜、監事:楠見邦博・青木正俊を選出した。

10月31日～11月1日の2日間、川越市で、関東ブロック協議会実行委員会(小林みどり委員長)が中心となって準備を進めた埼玉担当の第39回関東ブロック協議会を開催した。本部6名、埼玉16名を含め合計50名(9支部)が集まり、各支部の近況報告、「若い会員を獲得するには」「リーダーの素質向上」などについての意見交換などを行った。

その概況につき、11月7～8日千葉市内で開催された日本野鳥の会全国大会で、海老原美夫代表が報告した。

6. 事業活動関係

事業部(部長:大坂幸男)は、収益目的ではなく会員利便のためのサービスとして販売事業活動を継続した。運営準備積立金を維持し、会の財政安定に貢献した。

以上

平成27年度探鳥会実施一覧表

	年	月	日	曜	探鳥地	参加者数	会員	一般
1	27	4	5	日	石戸宿〔定例〕	23	21	2
2		4	5	日	民家園〔定例〕	雨天中止		
3		4	12	日	大麻生〔定例〕	30	22	8
4		4	12	日	狭山湖	36	26	10
5		4	12	日	宝登山	45	43	2
6		4	19	日	三室〔定例〕	56	35	21
7		4	19	日	内牧公園	46	42	4
8		4	26	日	秋ヶ瀬公園	121	87	34
9		4	29	祝	物見山	58	45	13
10		5	3	祝	宇和田公園	43	37	6
11		5	5	祝	浮島～小見川	23	23	0
12		5	6	祝	谷津干潟	53	49	4
13		5	8-10	金-日	三宅島	24	24	0
14		5	10	日	大麻生〔定例〕	31	25	6
15		5	10	日	黒浜沼	37	30	7
16		5	16	土	中軽井沢レディース	13	13	0
17		5	17	日	三室〔定例〕	69	53	16
18		5	24	日	狭山市入間川〔定例〕	46	38	8
19		5	30	土	加須はなさき公園	59	37	22
20		5	30-31	土-日	戸隠高原	23	23	0
21		6	7	日	石戸宿〔定例〕	47	42	5
22		6	7	日	民家園〔定例〕	38	26	12
23		6	14	日	高麗川	17	14	3
24		6	14	日	大麻生〔定例〕	21	19	2
25		6	18	木	羽生水郷公園	31	25	6
26		6	21	日	三室〔定例〕	47	35	12
27		7	6	日	渡良瀬遊水地	雨天中止		
28		7	13	日	大麻生〔定例〕	30	28	2
29		7	19	土	武蔵丘陵森林公園	38	35	3
30		7	20	日	三室〔定例〕	58	43	15
31		7	27	日	狭山市入間川〔定例〕	30	23	7
32		8	2	日	石戸宿〔定例〕	36	33	3
33		8	9	日	大麻生〔定例〕	26	25	1
34		8	15	土	千葉県谷津干潟	34	32	2
35		8	16	日	三室〔定例〕	42	32	10
36		8	23	日	ふなばし三番瀬公園	44	41	3
37		8	30	日	足尾松木溪谷～多々良沼	雨天中止		
38		9	13	日	大麻生〔定例〕	32	29	3
39		9	20	日	三室〔定例〕	61	48	13
40		9	20	日	高麗川	29	24	5
41		9	21-22	祝	白樺峠、乗鞍	27	27	0
42		9	23	祝	松伏記念公園	41	34	7
43		9	27	日	狭山市入間川〔定例〕	27	23	4
44		10	4	日	石戸宿〔定例〕	59	49	10
45		10	4	日	民家園〔定例〕	54	41	13
46		10	11	日	大麻生〔定例〕	雨天中止		
47		10	17	土	渡良瀬遊水地	20	17	3
48		10	18	日	三室〔定例〕	57	40	17
49		10	19	日	西川越	39	35	4
50		10	24-25	土-日	戸隠高原	22	21	1
51		10	25	日	多摩動物公園	32	32	0
52		10	25	日	さきたま古墳公園	31	22	9
53		11	7	土	丸山公園	28	25	3
54		11	7	土	まつぶし緑の丘公園	40	29	11
55		11	8	日	大麻生〔定例〕	雨天中止		
56		11	8	日	内牧公園	雨天中止		
57		11	12	木	羽生水郷公園	35	30	5
58		11	14	土	見沼自然公園	9	7	2
59		11	15	日	三室〔定例〕	雨天中止		
60		11	15	日	菅谷館都幾川	16	15	1
61		11	19	木	彩湖	33	32	1
62		11	21	土	渡良瀬遊水地	65	50	15
63		11	22	日	狭山市入間川〔定例〕	40	36	4

64		11	23	月-祝	坂東大橋	14	14	0
65		11	23	月-祝	柳瀬川	38	31	7
66		11	28-29	土-日	蕪栗沼	27	27	0
67		11	29	日	黒浜沼	52	42	10
68		12	5	土	狭山湖	27	24	3
69		12	6	日	石戸宿[定例]	47	41	6
70		12	6	日	民家園[定例]	50	43	7
71		12	6	日	加須はなさき公園	28	14	14
72		12	12	土	岩槻文化公園	50	41	9
73		12	13	日	大麻生[定例]	34	32	2
74		12	16	水	渡良瀬遊水地(平日)	47	40	7
75		12	19	土	武蔵丘陵森林公園	49	41	8
76		12	19	土	young(彩湖)	57	37	20
77		12	20	日	三室[定例]	55	43	12
78		12	29	日	幸手市宇和田公園	54	47	7
79	28	1	4	日	さぎ山記念公園	59	50	9
80		1	9	土	彩湖	32	15	17
81		1	9	土	ふなばし三番瀬海浜公園	21	20	1
82		1	10	日	まつぶし緑の丘公園	23	21	2
83		1	10	日	大麻生[定例]	45	37	8
84		1	11	祝	武蔵丘陵森林公園	52	44	8
85		1	11	祝	内牧公園	36	33	3
86		1	16	土	仙元山公園	27	25	2
87		1	16	土	久喜菖蒲公園昭和池	35	34	1
88		1	17	日	渡良瀬遊水地	55	48	7
89		1	17	日	三室[定例]	48	29	19
90		1	23	土	長瀬	20	17	3
91		1	24	日	黒浜沼	53	43	10
92		1	24	日	狭山市入間川[定例]	27	25	2
93		1	26	火	武蔵丘陵森林公園	37	36	1
94		1	28	木	羽生水郷公園	46	40	6
95		2	4	木	彩湖	45	38	7
96		2	6	土	智光山公園	41	36	5
97		2	6	土	菅谷館都幾川	39	32	7
98		2	7	日	石戸宿[定例]	57	49	8
99		2	7	日	民家園[定例]	67	53	14
100		2	11	祝	大宮市民の森	79	53	26
101		2	13	土	武蔵丘陵森林公園	42	40	2
102		2	13	土	岩槻文化公園	57	39	18
103		2	14	日	大麻生[定例]	19	17	2
104		2	14	日	狭山湖	雨天中止		
105		2	20	土	丸山公園	26	23	3
106		2	20	土	芝川第一調節池	42	28	14
107		2	21	日	三室[定例]	67	40	27
108		2	21	日	柳瀬川	39	24	15
109		2	28	日	坂東大橋	34	30	4
110		2	28	日	多々良沼	20	20	0
111		3	5	土	葛西臨海公園(レディース)	16	15	1
112		3	6	日	黒浜沼	46	33	13
113		3	6	日	玉淀河原	47	41	6
114		3	8	火	武蔵丘陵森林公園	25	24	1
115		3	12	土	彩湖	26	24	2
116		3	12	土	見沼自然公園	27	22	5
117		3	13	日	大麻生[定例]	32	29	3
118		3	19	土	加須はなさき公園	雨天中止		
119		3	20	日	三室[定例]	51	32	19
120		3	20	日	松伏記念公園	20	15	5
121		3	20	日	日光東照宮裏山	34	30	4
122		3	21	祝	高麗川	27	25	2
123		3	24	木	さきたま古墳公園	26	24	2
124		3	26	土	ミュージックパーク	54	50	4
125		3	27	日	狭山市入間川[定例]	22	16	6
126		3	27	日	渡良瀬遊水地	44	38	6
127		3	30	日	羽生水郷公園	47	32	15
					合計	4635	3798	837